

No.64



広報さつま 2010 7

人々が織りなす 元気で快適な 活力あるまち



**どろんこでもいい!
たくましく育てて欲しい!**

永野小学校PTAどろんこ運動会

広報さつま7月号

目次

- 02 さつまの日を推進 ①
知ってる? 「さつまの日」
- 06 ブックスタートのすすめ
- 07 まちのニュース
- 10 生かそう1票わたしが主役
7/11は参議院議員選挙の投票日です
- 11 健康づくり推進の町宣言
標語・ポスター募集
- 12 口蹄疫対策本部に対する
寄付金
- 12 地デジの準備はお済でしょうか?
- 13 川内川激特
鶴田ダム再開発速報
- 14 暮らしの情報
- 17 シリーズ
がんばれ認定農業者
- 18 ひと仕事(さつまに生きる)
- 19 誕生・おくやみ
1歳で~す
こんにちは保健師です
- 20 人・夢
休日在宅医・薬局

知ってる? 「さつまの日」 ①

さつま町(青少年町民育成町民会議)では、青少年の健全な育成を町民総ぐるみで推進していくため、県の「郷土に学び・育む青少年運動」とあわせ、毎月第3土曜日「青少年育成の日」と第3日曜日「家庭の日」を「さつまの日」として定めています。

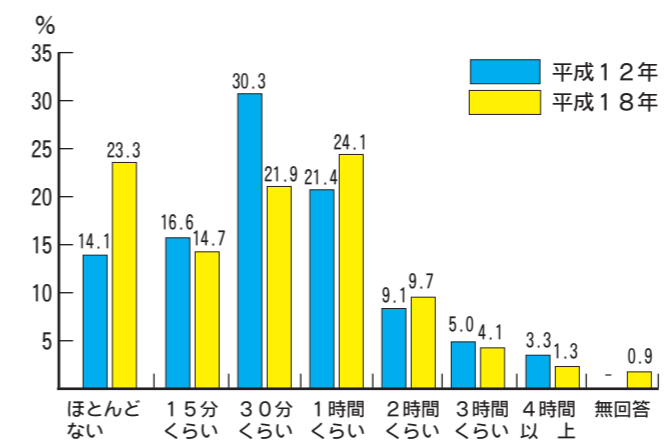
【背景】

少子高齢化が進み、地域の子もたちの人数が少なくなってきたうえに、電子ゲーム機やインターネットなどが普及する中で個々の遊びが増え、子どもたちが、みんなで遊んだり、活動したりすることが少なくなりました。そして、家庭や地域社会におけるふれあいや交流が少なくなったと言われます。近年において、家族間

家庭は、家族、特に親子のつながりを築き、生活を通じて、子どもが様々な力を身につけて成長していく基礎的な集まりですが、家庭をめぐる状況は年々変化しています。

平日の親子のふれあい時間が減少

9歳から14歳の子を持つ親が、平日子どもと何かをしたり、相手にしている時間がどのくらいあるのかを、平成12年と平成18年と比較すると平成18年において平日の親子のふれあい時間が「ほとんどない」とした父親が増え、23.3%、およそ4人に1人という結果。母親においても、父親ほど顕著ではないが概ね同様な傾向となっています。



親子のふれあい時間(父親)

■表紙の写真説明

永野小学校PTAどろんこ運動会



6月13日、田植え前の永野小学校の学習田で、どろんこ運動会が開催されました。最初は、おそろおそろ水田に入った子どもたちも、いつの間にか『どろんこ』になりながら、かけまわっていました。

親の帰宅時間が遅くなっています。

働く父親、母親の平均帰宅時間について、平成13年と平成19年を比較すると父親については、平成13年には、約4割いた19時までに帰宅する人が26.1%に減り、21時以降に帰宅する人が3割以上増加。母親については、18時までに帰宅する人が減り、18時から20時までの間に帰宅する人が大きく増加しています。

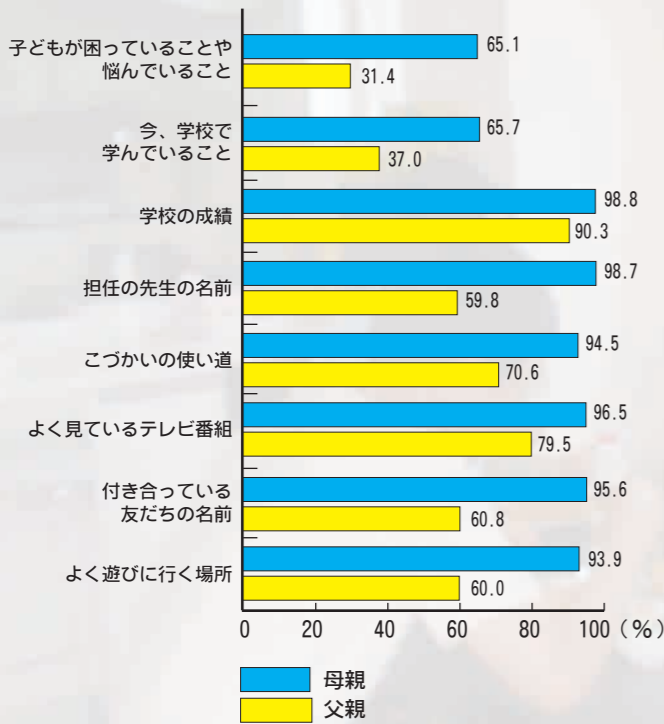
家族そろって夕食をとる回数の減少

家族団らんの場である夕食を家族そろってとる回数について、昭和51年から平成16年までの推移をみると、「毎日」、「週4日以上」の人が減り、「週2〜3日」が増えています。

子どもの悩みをよく知らない

子どもの悩みや問題などについて、親がどの程度知っているかについて

子どもとかわかることの親の認識度



資料：内閣府「低年齢少年の生活と意識に関する調査」(平成18年)

見てみると、全体的に父親の認知度は母親に比べて低い傾向にあります。特に、「友達の名前」、「よく遊びに行く場所」などでその差が拡大傾向にあります。

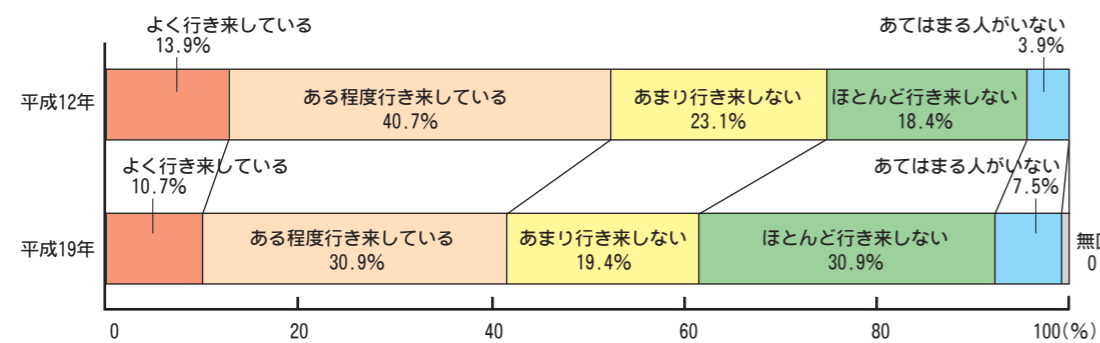
一方で、きちんと知るためにはある程度、日常的な関わりが必要な「学校で学んでいる内容」や「よく遊びに行く場所」や「よく見ているテレビ番組」などは、母親において他の項目と比べて若干低い傾向にあります。

■地域社会をめぐる状況

近所(地域)付き合いの希薄化

近所付き合いの程度について、平成12年と平成19年を比較すると「よく行き来している」及び「ある程度行き来している」が減り、「あまり行き来しない」及び「ほとんど行き来しない」が増え、これに「あてはまる人がいない」を加えると、約6割が近所付き合いに消極的という結果で、近所付き合いが疎遠になる傾向となっています。

近所(地域)付き合いの程度の推移



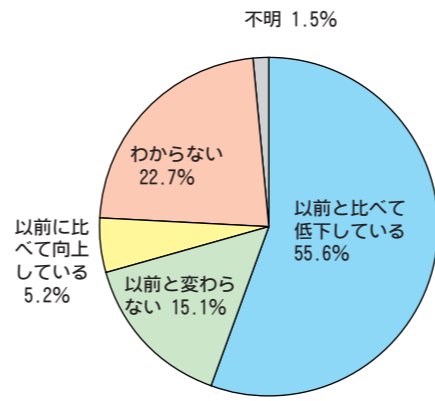
資料：内閣府国民生活局「国民生活意向調査」

「地域の教育力」が低下している？

「地域の教育力」について、小中学生の保護者に聞いた結果では、半数を超える保護者が自分の子ども時代と比べて低下しているとの回答。

その理由については、「個人主義が浸透（他人の関与を歓迎しない）」が5割を超えて最も多いほか、「地域が安全でなくなり、子どもを他人と交流させることに抵抗感が増加」、「近所の人々が親交を深められる機会の不足」、「人々の居住地に対する親近感の希薄化」、「母親の就労の増加」、「マンションの普及など居住形態の変化」

自分の子ども時代と比べた現在の地域の教育力



調査対象は、人口規模、地理的条件、地域的なつながりの強弱について、転出入者数、刑法犯認知件数など一定の指標を設定して選定した全国10地区の小学校2年生、小学校5年生、中学校2年生各100名程度の保護者
調査回収は、合計2,888名
資料：「地域の教育力に関する実態調査」報告（文部科学省H18.3）

等の回答が3割となっています。

遊ぶ場所、仲間、時間の不足

小・中学生に「放課後や休みの日に困っていること」を複数回答で聞いたところ、おおよそ5人に1人が「家の近くに遊び場がない」と感じており、次いで「家の近くに一緒に遊ぶ人がいない」のほか「自由な時間がない」、「楽しい遊びがない・何もしたくない」、「子どもだけで遊ぶのは危ないと言われる」がそれぞれ1割前後あり、遊ぶための時間、空間、仲間など遊びの自由がないと感じている状況があります。



子ども時代の体験・交流機会の重要性

あつた若者ほど、「仕事における態度・能力に自信をもっている」との結果であります。

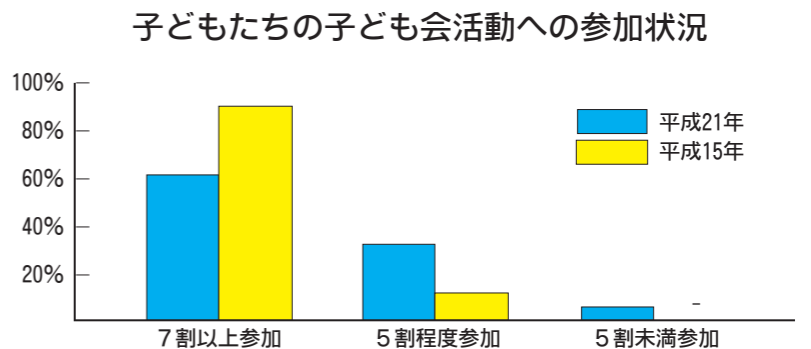
このほか、「親と将来のことについて話をする」、「大勢の友だちと遊ぶこと」、「地域の行事に参加すること」などについても、仕事における自信の有無において子ども時代の体験差が大きく影響しています。

平成20年度版
青少年白書抜粋

25歳から35歳の若者に對し、現在の仕事や生活の様式と小・中学校時代の体験等についてたずねた調査結果では、若者の「仕事における態度・能力に対する自信」は、子ども時代の体験や親とのかわりに関連しており、なかでも、小・中学校時代に「親や学校の先生以外の大人と話すこと」が



右のグラフの分析
平成15年度は子どもたちの子ども会への参加率が7割以上参加している」と答えた市町村が約90%であったが、平成21年度60%まで減少してきている。子どもたちが「参加しやすい」「参加したくなる」「魅力ある活動プログラムを作成していく必要がある。」（平成21年鹿児島県子ども会連絡協議会「新さつま子どもいきいきプランアンケート調査」）



「さつまの日」の趣旨

青少年を取り巻く社会背景が変化する中

家庭における親子のかわり方を見直す契機として、毎月第3日曜日の「家庭の日」には、家族でゆっくりご飯を食べたり、ゆっくり語り合ったり、そろって外へ出かけたりする機会を作りましょう。

また、子ども時代の様々な体験が将来大きく影響していることから、毎月第3土曜日の「青少年育成の日」には、地域の行事や子ども会活動、ボランティア活動などの地域活動等に親子で積極的に参加し、家族及び地域の皆さんと一緒に活動し、ふれあいや交流を深めましょう。

「家庭の日」発祥の地、さつま町

※「家庭の日」のはじまり
「家庭の日」は昭和30年（1955年）に旧鶴田町から始まりました。当時鶴田町では出稼ぎにより高齢者や女性の農業従事者はほとんど休みのない状況でした。このような中、家庭の中の家族の絆が薄れつつあることから「家庭を大切にしたい」という願いと農業従事者の「農休日」という考えが一緒に生まれました。その後、昭和40年に鹿児島県が毎月第3日曜日を「家庭の日」として設定し、その運動は全国に広がっていききました。



東修一 教育長

「知識は学校で、知恵は家庭・地域で」
学校でもいろいろ教えますが、子どもにとって家庭、地域での触れ合い、体験がその子の将来の在り方の基本になると思います。

本町では、青少年教育の一環として「さつまの日」を設定していますが、とにかく家庭、地域での人との触れ合

いや、ふるさとの山川などでの自然体験が生き方の原点になると思っています。

五千円札の肖像としても知られる、新渡戸稲造は、その著書で「知識は学ぶ人の心に同化され、立派な行動になって表れる時に真の知識となる」という旨のことを言っており、真の知識を備えた子

どもを育成するために、どこにもない「さつまの日」の取り組みを行い、将来の本町を担う志の高い児童、生徒の育成が図られればと思っています。

そのために、今後更に家庭、学校、地域が共に協力し、スクラムを組んで青少年の健全育成を推進していききたいと思っています。



「さつまの日」の特集は、今月号から3回シリーズでお知らせします。

赤ちゃんの健やかな成長を願って、6月9日に実施された4ヶ月児健診で17人の赤ちゃんに、お母さんが4冊の絵本から選んだ2冊の絵本、よだれかけ、コットンバッグ、赤ちゃん用図書カードをブックスタート・パックとして日高町長から贈呈されました。

Qなぜ、ブックスタートをはじめるの？

小さいときから、本に親しむということは、勿論でありますが、赤ちゃんにはお母さんや、大切な人の胸に抱かれ、腕に支えられて心のもった温かい声と言葉に包まれることが、今後の成長に大きな影響を与えるものであります。

その意味で、「ブックスタート」事業は、お母さんと赤ちゃんと言葉と愛を届ける活動です。この事業は、乳幼児の4ヶ月健診時での実施ということで、早いと思われる皆さんも多いのではと思いますが、0歳児から始めることが、最も効果が高いとも言われております。

赤ちゃんは、お母さんの声と言葉に喜びを感じ、また、お母さんは、赤ちゃんの口から出る声が好きです。皆さん方におかれましては、忙しい中ではありますが、是非、親子のふれあいの時間をできるだけたくさん、お子さんの成長につなげていただきたいと思います。



ま ち の ニ ュ ー ス

人々が織りなす 元気で快適な 活力あるまち

瑞宝双光章を受章

赤崎清秀さん

平成22年春の叙勲で瑞宝双光章を受章された、求名区在住で元さつま町消防団副団長の赤崎清秀さん(77)が町長室を訪れ、日高町長に受章の報告を行いました。赤崎さんは昭和29年に旧求名村消防団に入団以来、55年の永きにわたり災害現場の第一線で活躍されました。

この間、平成7年から旧薩摩町消防団団長を、平成17年の市町村合併後は町消防団副団長を務められ、災害現場での活動や団員の指導育成、消防技術の向上に尽力されました。

今回の受章は、その功績が認められたものです。



受章報告後の赤崎さん(左から2人目)



受賞を喜ぶ関係者 (前列左から2人目、後列左から2人目)

県知事賞を受賞

永野区むらづくり委員会

昨年12月に「鹿児島県共生・協働のむらづくり」審査会が開催され、永野区のむらづくり活動が県知事賞を受賞しました。永野区は地域の話し合い活動が盛んで、女性や壮年グループによるボランティア活動に積極的に取り組んできました。特に区の一大行事である「永野ウォーキング大会」は、真心のこもった大会で、リピーターが多いのが特徴です。受賞式に参加された地域代表は、「特別な活動はしていないが県知事賞を戴き、これからは頑張りという後押しをされたようです。区民みんなで喜びたい。」と話されました。

このように活動に対し、本年5月に日本生命財団が主催する「生き生きシニア活動顕彰」を受けられました。

地域の見守り役

京友会自主防犯パトロール

京友会自主防犯パトロール隊(代表 亀澤幸市氏 隊員15人)は、平成17年12月に、京塚原青壮年クラブと京塚原・下京塚原老人会を中心に結成され、以来毎日2名以上の隊員で、地域の小学生の通学の安全を見守っておられます。

パトロール地区には、自ら設置した「パトロール詰所」もあり、地域の高齢者のふれあいの場にもなっています。



帰宅途中の児童と京友会のメンバー



「ブックスタート」で初めて赤ちゃんが手にした絵本を保存し、その子が成長したいつか、例えば成人式、結婚式といった節目のときなどに、一言添えて手渡ししてあげてください。それはお母さんの匂いや赤ちゃんのときの匂いのする、その子の確かなルーツであり、一生の記念となるかけがえない絵本になるのではないのでしょうか。

★赤ちゃんにとって絵本を読んでもらうことは・・・？
抱っこしてもらって、きれいな絵を見ながらお父さんやお母さん、家族みんなに話しかけてもらうのはとってもうれしいこと。

★赤ちゃんに絵本を読んでもらえることは・・・？
早期教育が目的ではありません。赤ちゃんに読んであげる人の心をつなぐ豊かな時間をつくるものです。

★絵本はおもちゃのひとつ

抱えて、開いて閉じて、なめたりかじったり、投げたり破いたり・・・もろろんじつと見ることも赤ちゃんにとっては遊びです。

★赤ちゃんは歌も大好き

身体にふれながらことばやリズムを楽しむわらべ歌遊びはみんな大好きです。

★テレビやビデオでは心は育ちません。

テレビやビデオは一方通行の世界です。赤ちゃんの心を育てるには、赤ちゃんへの呼びかけや語りかけ・笑いかけに促してくれる、ひとが必要なんです。まずは、テレビを消して静かなゆったりとした時間の中で、赤ちゃんにふれあひ・遊び・絵本を読んであげてください。

★絵本は子育ての「お助けマン」

生まれて間もない赤ちゃんに何を話しかけたらいいの・・・と戸惑うお父さんやお母さんもいることでしょう。そんなとき参考にするのが、こころをこめて作られた絵本です。絵本の中には美しいリズム感にあふれたことばがいっぱい詰まっています。そして、きれいな美しい絵も赤ちゃんに語りかけています。

★うちの子、絵本は好きじゃないみたい

赤ちゃんにとっておもしろいものはたくさんあります。しばらくの間をおいて、また別のときに読んであげてみてください。あせらないうで、あきらめないで・・・。

★上手に読むのはむずかしいそう

赤ちゃん絵本は、ページの順に書いてあるとおりに読まなくてもお気に入りのページを開いておしゃべりしながら同じ空間を共有できれば、だいじょうぶです。



6月9日のブックスタート事業初日に、日高町長から参加者に絵本などの贈呈が行われました。

地域の川を大切に

河川功労者表彰

柏原の学習塾「べんきょうしつモンシエリハウス」代表の森脇里美さんと塾生の子どもたちが、6月9日町長室で、社団法人日本河川協会の「河川功労者」を受賞した報告を行いました。モンシエリハウスは、近くの河川のごみ拾いや生き物、水質調査を継続して行ったことで今回の受賞となりました。

当日は、訪れた17人の塾生を代表して3人の塾生が日高町長に日頃の活動内容や受賞の感想を報告しました。

公正な選挙を見守り

濱田敏朗さん

湯田区在住で町選挙管理委員会委員の濱田敏朗さんが、鹿児島県選挙管理委員会連合会から選挙功労者として表彰されました。

6月2日には、町選挙管理委員会の新森一教委員長から表彰状の伝達が行われました。



受賞した濱田さん



報告に訪れた塾生と森脇さん(左)

絵本を読んでもらった時間は一生の宝物。そんな期間限定の貴重な時間が作れるのは案外短いものです。その子が大好きなお気に入りの絵本をたった一冊でも見つけてあげることができたら・・・あとは繰り返し読んであげてください。

町内危険箇所を点検

5月30日、町内の土砂災害等危険箇所の点検が行われました。当日は、消防団や区公民館長、公民会長等が各区域内の土砂災害や浸水の危険箇所等を点検するとともに、災害時要援護者を訪問し、安否確認や災害時の避難方法等について声かけを行いました。

この点検で、町内にかけ崩れ危険箇所が417箇所、浸水危険箇所が70箇所あることがわかりました。危険箇所の情報を関係機関が共有することで、災害時ににおける危険箇所の把握と迅速な対応が可能になります。また、非常時には早めの避難を心掛けてください。

避難訓練も実施

5月30日の午後からは、木洪公民会で土砂災害を想定した避難訓練が行われました。訓練には子どもから高齢者まで62名の方々が参加し、消防、警察等による避難誘導のもと木洪ふれあい館を避難場所として避難



木洪地区での避難訓練の様子

訓練を行いました。その後、木洪ふれあい館で土砂災害ハザードマップの説明など防災研修会も行われました。

訓練に参加された假屋公民会長は「班ごとに一次集合同所に集まり、集団での避難訓練もスムーズに行われ、またハザードマップで集落内の危険箇所を共有認識することができました。今回は防災機関との合同訓練でしたが、今後は自主的に避難行動がとれるよう訓練を続けていきたいです。」と感想を話されました。



プランターを受け取る、長濱宮之城屋地区公民館長

商店街に活気を

花プランター贈呈

6月2日、『薩摩中央高校プランター贈呈式』が宮之城屋地商店街で行われました。

薩摩中央高校では、平成18年の県北部豪雨災害で被害を受けたさつま町に対して、災害復興と活気ある町を祈念して毎年花プランターを贈呈しています。

贈呈式の後、生物生産科の生徒は200個のプランターを、宮之城屋地商店街と虎居商店街に設置しました。

商店街を通行の際は、きれいに咲いた花を是非観賞してみてください。

歯をみがこう！

歯の衛生週間作品コンクール

銅賞	銀賞	銀賞
		
盈進小学校2年 早 鈴 まい さん	柘野小学校3年 大 野 詩 音 くん	盈進小学校4年 橋 口 蓮 くん

5月27日、薩摩郡歯科医師会管内の小学校を対象とした歯の衛生週間作品コンクール審査会が行われました。審査の結果、町内外37校の小学校から寄せられた273点の絵画の中から、盈進小学校4年生の橋口蓮くんと柘野小学校3年生の大野詩音くんが銀賞、盈進小学校2年生の早鈴まいさんが銅賞を受賞しました。

なお、金賞は薩摩川内市立藤川小学校5年生の中村謙太くんが受賞しました。

町のポテンシャルを引き出せ！

さつま町まちづくり懇話会を開催

町では、各方面での豊富な経験や専門的な知識、まちづくりに関する様々な情報を有する方々との意見交換を通し、新たなまちづくり方策や方向性を検討しようとして「まちづくり懇話会」を設置し、6月3日に第1回目の会議を開催しました。

当日は、午前中に町内の資源（温泉、ホタル、竹、川、梅、ガラス工芸、交通）や各関連施設など、発展可能性を探る視察を行い、午後から日高町長も出席して懇話会を開催しました。

町長は、あいさつの中で「これまでの全国画一的なまちづくりから自ら考え行動していく時代に入っている。本町は自然豊かで様々な農産物もとれ住みやすい環境にあるが、この住みやすさをもっと追求し伸ばしていきたい。そのような点で各方面における専門的な立場から様々な意見を町づくりの参考にしていきたい」と述べました。

委員からは、「これだけ農産物が各地域にバランスよくあるところはないのではないか」「色々あるから

- （順不同・敬称略）
- 北崎 浩嗣
- （鹿児島大学法文学部教授）
- 上原 智之（コンサルタント）
- 浜本 奈鼓
- （NPO法人くすの木自然館専務理事）
- 下水流 隆（NPOムラ工房）
- 横山 より子
- （文化財保護審議員）
- 池田 昇示
- （IGR京セラ専務取締役総支配人）
- 此元 正明（湯気院社長）



懇話会の様子

第6回関西がごしまファンデー

5月23日、関西鹿児島県人会総連合会（会長：稲盛和夫）の主催による「第6回関西がごしまファンデー」が「京セラドーム大阪」で開催されました。

当日は、鹿児島の特産品などを扱う252ブースが出店しました。本町からは観光協会とJA北さつまが出店し、近畿さつま会員の協力のもと、「こさんだけ」や「あくまき」などを販売し、なつかしいふるさとの味を求めて、多くの来場者（主催者発表3万3千人）で賑わいました。

また、ステージショーなども行われ、出店者と来場者が一緒に踊るなど、盛大な「かごしまファンデー」となりました。



大賑わいの「さつま町」のテント前

町茶産協「新茶」を贈呈

6月2日、さつま町茶生産協会（別府秀吉会長）のメンバーが役場を訪れ、日高町長に新茶を贈呈されました。これは、お茶のPRの一環として、毎年行われているもので、今年で11回目となりました。さつま町のお茶は、奥薩摩特有の深い霧に育まれて、深みのある味わいと香りが県内でも高い評価を受けています。いただいたお茶は、役場内で来客用として活用するなど、PRに努めます。



新茶を別府会長（右）から日高町長へ

県内初の珍事？

竹に実が

宮之城伝統工芸センターで東南アジア地方原産の竹メロカンナ（和名「ナシダケ」）が実をつけました。

この竹は、平成10年の全国竹の大会の際、展示用として福岡県の世界竹研究所から購入されたものです。県竹産業振興会の濱田会長によると、「メロカンナの苗の購入は県内でも珍しく40〜50年に1回の開花を見せるので、実の本物を見ることができるとは、県内では初めてと思われる」と話されました。



緑色の実をつけたナシダケ



次々に出荷される青梅

『さつま町健康づくり推進の町宣言』標語・ポスター作品募集

町では、町民一人ひとりが「健康」と「食」に関心を持ち健康で楽しく、いきいきと暮らすことができることを願い「さつま町健康づくり推進の町」宣言を行います。

宣言に合わせて町内の小・中・高校生及び一般の方々から標語、及びポスターの作品募集をします。

◆テーマ

運動・栄養・休養による健康づくりや病気予防、食育に関すること、家庭や職場、地域の団体やグループ等の健康づくりに関すること。

◆実施方法

・対象 町内の小・中・高校生及び一般とします。

・応募方法

標語は、応募用紙又はハガキに、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）電話番号・学校名・学年（児童・生徒のみ）を明記のうえ応募してください。ただし、作品は、一人2点まで未発表のものに限ります。応募用紙は、役場本庁健康増進課及び各支所の保健福祉係に置いてあります。

ポスターは、一人1作品（四つ切・B3判以上画用紙で、方向は自由とします）で未発表のものに限ります。裏面に郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号・学校名・学年（児童・生徒のみ）・絵の説明（100字程度）を明記のうえ応募ください。

◆表彰

小学生の部・中学生の部・高校及び一般の部の3部門と、「標語」・「ポスター」それぞれ各部門からそれぞれ最優秀賞1点、優秀賞1点、入選3点とする。入賞者には、賞状と副賞を贈呈。

・作品紹介

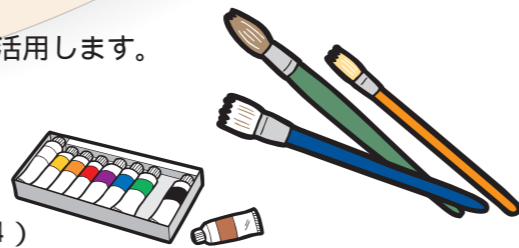
標語及びポスターの各賞の最優秀賞受賞者は、平成23年2月開催予定の「さつま町民大会」にて表彰し、入賞者は広報紙で紹介しします。

入賞作品は、役場庁舎等に掲示して健康づくり推進の啓発に活用します。

◆審査方法 作品審査は健康増進課等で審査し決定します。

◆募集期間 平成22年7月1日（木）～9月30日（木）

◆応募先 役場 健康増進課 健康増進係（内線2143・2144）



平成22年9月1日 宮之城中学校は県立宮之城高等学校跡地へ移転します

現在の宮之城中学校校舎は、昭和47年に建設されましたが、40年近くを経て老朽化が著しく、平成9年の鹿児島県北西部地震の被害も受け、改築を余儀なくされていました。

このような中、鹿児島県の高校再編により、利用されなくなった県立宮之城高等学校の施設・敷地が町に譲与され、その有効活用を図るため、敷地面積や学級数なども類似している宮之城中学校施設として活用することになりました。

当初、平成20年9月移転を計画していましたが、宮之城高等学校敷地の背後地において、川内川河川激甚災害対策特別緊急事業による分水路が整備されることになり、振動や工事音による学業への影響、工事車両の通行による通学への影響などを考慮して、移転を延期しておりました。

この度、分水路整備による学業への影響もほとんど解消されたことから、学校施設の安全性確保を図るため、宮之城中学校を平成22年9月1日に県立宮之城高等学校跡地へ移転することになりました。

【お問い合わせ先】さつま町教育委員会総務課 52-1230

7月11日（日）は 第22回参議院議員通常選挙の 投票日です

国民全体の利益を代表し、国民の総意を反映すべき使命を負っている議員を選ぶ大切な選挙です。

投票は町内31カ所の投票所で午前7時から午後7時まで行われます。棄権のないように投票しましょう。

また、選挙当日に投票所へ行くことができない人は、期日前投票ができますので、ご利用ください。

期日前投票のできる期間及び場所

さつま町役場 本 庁 中別館前.....6月25日（金）から7月10日（土）まで
さつま町役場 鶴田支所 1階小会議室
さつま町役場 薩摩支所 会議室1（本館）...7月3日（土）から7月10日（土）まで

期日前投票できる時間 午前8時30分から午後8時まで

7月11日選挙当日の投票所一覧

投票区	投票所名	投票区	投票所名
第1投票区	盈進小学校体育館	第17投票区	二渡清流館
第2投票区	虎居地区公民館	第18投票区	白男川小学校体育館
第3投票区	平川営農研修センター	第19投票区	泊野小学校体育館
第4投票区	大薄公民館	第20投票区	鶴田地区コミュニティセンター
第5投票区	柊野区公民館	第21投票区	大平公民館
第6投票区	湯田いきいき研修館	第22投票区	鶴田保健センター
第7投票区	船木地区農業構造改善センター	第23投票区	大俣公民館
第8投票区	時吉ほたる館	第24投票区	柏原地区集会施設
第9投票区	佐志地区公民館	第25投票区	紫尾小学校体育館
第10投票区	仮屋原公民館	第26投票区	永野交流館
第11投票区	広瀬集会所	第27投票区	金山公民館
第12投票区	山崎地区公民館	第28投票区	求名交流館
第13投票区	荒瀬公民館	第29投票区	下狩宿公民館
第14投票区	久富木区公民館	第30投票区	さつま町役場薩摩支所
第15投票区	北原公民館	第31投票区	中津川交流館
第16投票区	須杭公民館		

投票できる時間 午前7時から午後7時まで

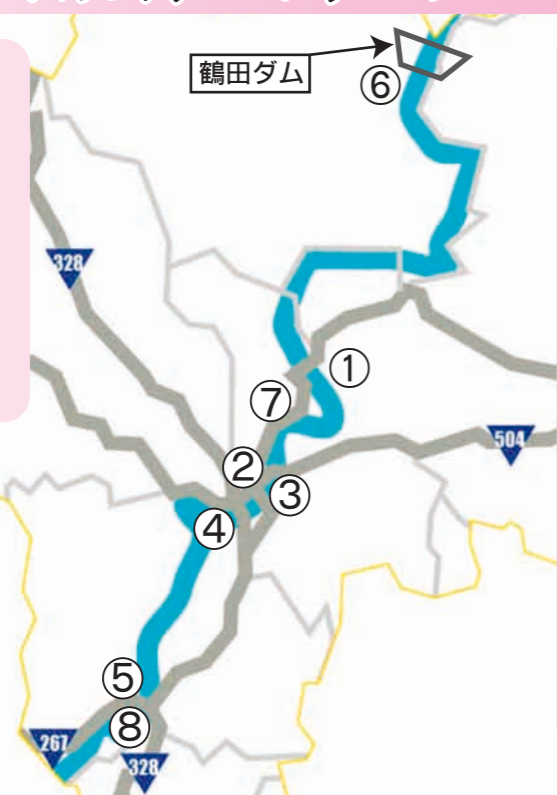
問い合わせ先 町選挙管理委員会（役場総務課内） 53-1111（内線2213）

『生かそう一票 わたしが主役』

川内川激特・鶴田ダム再開発速報

【北薩地域振興局関連工事】 (平成22年6月10日現在)

- 柏原地区
 - ・夜星川橋工事(1件)
- 虎居地区、宮之城屋地地区
 - ・宮都大橋工事(3件)
- 山崎、二渡地区
 - ・護岸工事(2件)
 - ・東橋工事(1件)
 - ・山崎橋工事(2件)



【国土交通省関連工事】

(平成22年6月10日現在)

- 激特事業関連工事
 - 湯田地区
 - ・築堤護岸工事(2件)・樋門工事(1件)
 - 虎居地区
 - ・築堤護岸工事(1件)
 - ・樋門工事(1件)
 - 宮之城屋地地区
 - ・樋門工事(1件)
 - 推込地区
 - ・分水路掘削工事(4件)
 - ・河道内掘削工事(1件)
 - 二渡地区
 - ・築堤工事(1件)
- 鶴田ダム再開発事業関連工事
 - 神子地区
 - ・工事用道路関連工事(2件)
 - ・法面処理工事(1件)

《今月の現場写真》 場所：町管内の各樋門工事状況
 昨年度から、4地区にて河川護岸に樋門の新設工事を行っています。
 今年5月末に柏原地区にて「柏原第一樋門新設その他工事」が竣工しました。

【施工中】
虎居樋門（虎居地区）



【竣工】
柏原第一樋門（柏原地区）



【施工中】
六川樋門（川原地区）



【施工中】
湯田第一樋門（湯田地区）



■お問い合わせ先■

国土交通省川内川河川事務所 (0996)22-3271
 激特事業に関すること 工務課 志賀 三智
 鶴田ダム再開発事業工事に関すること 工事課 猪野和歌人
 激特事業工事に関すること 宮之城出張所 宇都 薫
 (0996)53-1756

鹿児島県北薩地域振興局 建設部
 河川港湾課 河川砂防第2係 係長 木佐貫浄治
 (0996)23-5151

鹿児島県立宮之城高等技術専門校入校生募集

■平成22年度オープンキャンパス
 中・高校生、一般を対象に木工・建築大工の
 体験入校生を募集します。

期 日：平成22年7月28日(水) 9:00~12:30

申込期限：平成22年7月22日(木)

募集人員：先着30名

参加費：無料 1日傷害保険加入予定(1人100円程度)

申込書は県内の中学・高等学校、職業安定所

当校ホームページにあります。

■平成23年度推薦選考【室内造形科・建築工学科】
 (高校卒業見込者)大工・建築大工の技術技能の習得を
 目的とした入校生を募集します。

受付期間：平成22年9月1日(水)~平成22年9月17日(金)

選考日：平成22年10月1日(金)

選考方法：筆記試験 小テスト(数学)、面接

合格発表：平成22年10月7日(木)

詳しくは当校募集案内・ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先 鹿児島県立宮之城高等技術専門校
 〒895-1804 薩摩郡さつま町船木881番地
 TEL 53-0207 FAX 53-0993

地デジの準備はお済みでしょうか？

2011年(来年)7月24日までにアナログテレビ放送は終了します

これまでのテレビ(地上アナログ放送)が終了して、地デジ(地上デジタル放送)に完全移行します。これまでアナログテレビでは普通に見ることができていた地域でも、山間部や地形の影響でデジタル放送を受信できない地域がでてくる可能性があります。

そのような場合は、まず受信点の調査をしてご家庭にあった受信方法対策(アンテナ改修や調整、工事など)をする必要があり、時間を要することから早めに地デジの準備をしておくことが大切です。

Q. なぜ放送をデジタル化するの？

A. 現在、放送や通信に使える電波は、余裕がないほどぎっしり詰まっています。デジタル化することで放送や携帯電話などのほか、防災、交通事故防止など、さまざまな分野で有効に使うことができるようになります。

Q. 地デジを見るにはどうするの？

A. 大きく分けて、次の2つの方法があります。
 デジタルテレビに買い換える
 地デジチューナーまたは地デジチューナー内蔵機器を買い足す(UHFアンテナの交換が必要となる場合があります)

Q. テレビやアンテナを替えた、またはチューナーを取り付けたけど、デジタル放送を受信できない。

A. 電波の受信状況を調査する必要がありますので、下記に早めにご連絡ください。

地デジの調査やデジタル化工事を装って、その場でお金を請求することはありません。

【地デジに関する相談やお問い合わせ先】

地デジコールセンター 0570-07-0101 役場 企画課 地域振興係(内線2226)
 デジサポ鹿児島 099-833-2020 (いずれも平日は9:00~21:00、土・日・祝日は9:00~18:00)

善意のお志、ありがとうございます

町では、口蹄疫対策本部を設置し、消毒ポイントを設けるなど、感染予防に努めています。「口蹄疫対策に役立てて」と次の方々からご寄付をいただきました。

- ・川内川工事事務所宮之城出張所安全連絡協議会
- ・さつま町商工会
- ・さつま町商工会(総代会)
- ・宮之城ちくりんスタンプ会
- ・アジサイスタンプ会
- ・薩摩スタンプ会
- ・宮之城金融クラブ
- ・(有)徳重和牛人工授精所
- ・薩摩郡種雄牛協会
- ・川薩地区家畜商組合
- ・薩摩家畜人工授精師会
- ・(株)シムコ鶴田事業所
- ・宮之城屋地区内14公民会及び宮之城屋地区公民館
- ・鹿児島県鹿屋町村会

畜産関係車両への消毒作業

寄付金総額
5,693,963円
(5/24~6/15受付分)



充実した夏休みにしよう!
モンシェリ生募集!!

小学生 平日(月~金) ¥10,000	宿題 TIME (夏休みの宿題)	勉強 TIME (ドリル・問題集)	総合学習 TIME
中学生 火・水 ¥12,000	自学自習 TIME (コース時間外)	基本コース 単語・英文法	発展コース 英文法・英検対策

MON-CHERI HOUSE
さつま町柏原 ☎090-5298-6653 森脇

看護師さん募集!!
&
**看護学校奨学金制度
あります!**

働きながら資格が取れます!
薩摩郡医師会病院 ☎0996-53-0326

ちくりんスタンプ会イベント情報

スタンプを貼り終えた台紙に、貼ってご利用ください。
このシールを貼ってある台紙はスタンプシールをプラス
10枚差し上げます。

いつでも!

台紙2冊で タクシーチケット 1,500円分と交換	台紙5冊で 新幹線 川内 鹿児島 (往復)と交換
---------------------------------	-----------------------------------

**スタンプシール
プラス
10枚**

有効期限
平成22年7月31日

詳細は、ちくりんスタンプ会まで ☎53-1141(町商工会内)

■広告掲載料
~広告を掲載しませんか? 広告主大募集!~

- ・広報さつま 1枠 1万円(縦6.0cm×横8.5cm)
- ・町ホームページ(行政サイト) 1月8,000円
- ・町公用封筒(定型封筒長型3号)
1枠3万円(縦10.0cm×横8.5cm)
- ・てんがらなび(住民交流サイト) 1月5,000円

■詳しくは町ホームページをご覧ください。
<http://www.satsuma-net.jp/>

健康増進課 保険係
内線2141

●保険証が8月1日で切り替わります!
国民健康保険被保険者証(学・遠含む)及び高齢受給者証、並びに後期高齢者医療被保険者証の有効期限は平成22年7月31日です。更新手続きは、7月末に各公民会行政連絡員を通じて行います。

福祉課 福祉障害係
内線2134

●7月は「社会を明るくする運動」強調月間です
毎年7月を強調月間として行われる「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行

の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする法務省主催の全国的な運動で、昭和26年から始まり、今年で60回目を迎えます。
犯罪や非行のない地域をつくるために、一人ひとりが考え、参加するきっかけをつくることを目指し、街頭キャンペーンやテレビ放映による広報など、さまざまな活動が展開されます。

安全で安心して暮らすことのできる明るい町づくりに皆様のご協力をお願いします。

●5月の納税など

- 固定資産税第2期
- 国民健康保険税第1期
- 後期高齢者医療保険料第1期
- 介護保険料第1期

【納期限8月2日】
納税は、便利で確実な口座振替制度をご利用ください。

消防本部
☎(52)0119

○火災	発生件数 2件	○救急	出動件数 76件
	内訳 建物1件 その他1件		運んだ人 69人
			内訳 急病 37件31人 交通事故 6件5人 その他 33件33人

●5月の火災・救急情報

町民課 町民係
内線2125

◇国民年金は3つの年金であなたをサポートします。

- 老齢基礎年金
平成22年度年金額 792,100円(満額)
20歳から60歳まで40年間、全期間保険料を納付された方は65歳から満額の老齢基礎年金が支給されます。
- また、老齢基礎年金を受給するためには、保険料を納めた期間と保険料を免除された期間が、最低25年(300月)あることが必要です。
- 障害基礎年金
平成22年度年金額 990,100円(1級)
792,100円(2級)
国民年金に加入中の病気やケガにより、障害の状態にある間は障害基礎年金が支給されます。
- 遺族基礎年金
平成22年度年金額 1,020,000円(妻)
(基本額 792,100円+子1人の加算額:227,900円)

◇年金を受けている方が亡くなったとき
年金を受ける権利は、年金を受けている方が死亡するとなくなります。年金は死亡した月の分まで支払われます。死亡した方に支払われるはずであった年金が残っているときは、遺族の方にその分の年金(未支給年金といえます。)が支払われます。

遺族の方などが、「未支給年金保険給付請求書及び死亡届」を役場年金係または川内年金事務所

に提出してください。
「未支給年金保険給付請求書及び死亡届」には、「年金証書」のほか死亡の事実を明らかにできる書類(戸籍抄本、住民票抄本など)が必要です。
この届が遅れますと、年金を多く受け取り過ぎて後で返さなければならなくなることもありますので、ご注意ください。未支給年金を受け取ることでできる遺族の方は、年金を受けていた方の死亡当時、その方と生計を同じくしていた配偶者、子、父母、孫、祖父母または兄弟姉妹です。未支給年金を受けられる順位もこのとおりです。
年金を受給されていない方が亡くなった場合でも、遺族年金・寡婦年金・死亡一時金が支給される場合があります。役場年金係か川内年金事務所へお問い合わせください。

◇免除制度をご存じですか?
「所得が少ない」「会社を退職した」等の理由で経済的に国民年金保険料を納付することが困難な場合は、保険料免除制

耕地林業課 林務係
内線2432

■メジロの捕獲と飼う際の手続きについて
7月15日からメジロの捕獲が解禁になりますが、捕獲する際には事前に町の許可が必要です。
また、メジロを捕獲、飼養しようとする方は次の事項にも注意してください。
○愛がん鳥獣として飼う目的で捕まえることができる野鳥はメジロだけです。(ホオジロは捕獲できません。)
○一世帯で一羽しか飼う

ことができません。
○メジロの捕獲には町の許可が必要です。
・捕獲しようとする方は事前に町に捕獲申請を提出し、許可を受ける必要があります。
なお、次に該当する方には許可できませんのであらかじめご了承ください。
ア、申請者本人を含めて同一世帯内で現に飼養している人がいる場合、過去5年以内に関がんと鳥獣の捕獲許可を受けたことがある場合など。
・許可できる期間は、毎年7月15日から2月末日までの間で、その内1か月以内となっています。
・かすみ網を使用した捕獲は禁止されています。
○メジロを飼う場合にも町への登録が必要です。
許可を受けて捕獲したメジロを飼う場合は、捕獲してから30日以内に飼養登録をする必要があります。また、登録には手数料が1,000円必要です。
なお、メジロを他人から譲り受けた場合にも届け出が必要です。

さつま町時吉

しも いち ひろ あき
下市博 彰さん 51歳



下市博彰さんは平成15年3月に認定農業者として認定されました。

現在、トマト20a、キュウリ10a、水稻2haを経営されています。

トマトなどの園芸作物を経営されるうえで、「害虫などがもたらすウイルス被害に気を遣います。防虫ネットなどで対策をしていますが、まめに観察することが大切です」と苦勞を話されます。

今後「農家戸数や面積の減少化が懸念されますが、市場の要望に応えられるように産地を残していくことが大事」と抱負を話されました。



町長交際費執行状況 (5月分)

- 5月2日 7,175円
町内企業創業40周年記念祝賀会時
- 5月7日 4,800円
神子地区コミュニティセンター改築祝及びに町道上下大迫線改良工事完成祝賀会時
- 5月14日 3,400円
宮之城ちくりんスタンプ会総会時
- 5月17日 3,400円
商工会女性部通常総会時
- 5月21日 3,400円
さつま町商工会通常総代会時
- 5月29日~30日 23,450円
薩摩西郷梅販売推進試食会時
- 5月31日 2,006円
庁舎建設に係る研修視察時

- 町長の動静** (平成22年5月) ※主な会議及び行事を抜粋(庁内の会議は除く。)
- 5月1日(土) 口蹄疫消毒ポイント巡回
 - 2日(日) 九州管内高校ラグビー大会歓迎式 ▽町内企業創業40周年記念祝賀会
 - 5日(水) 口蹄疫消毒ポイント巡回
 - 6日(木) 朝会 ▽竹チツプ工場地元説明会 ▽たばこ耕作組合、河川事務所協議
 - 7日(金) 企業立地協定調印式 ▽入札 ▽神子コミュニティセンター改築ほか祝賀会
 - 8日(土) 口蹄疫対策協議
 - 9日(日) 町防炎訓練 ▽町母子寡婦福祉会
 - 10日(月) 教育委員辞令交付式 ▽国勢調査看板設置式 ▽町衛生自治団体連合会総会
 - 12日(水) 全国水源造林協議会総会・かこしま遊楽館訪問(13日まで 東京都)
 - 13日(木) 町体育協会表彰及び評議員会
 - 14日(金) 太陽福祉センター運営審議会ほか
 - 15日(土) 口蹄疫消毒ポイント巡回
 - 17日(月) 監査(県観光連盟) ▽防災気象講演会 ▽商工会女性部通常総会
 - 18日(火) 県高規格道路整備促進期成会総会 ▽県農業農村整備情報センター総会
 - 20日(木) 町防犯協会理事会及び総会
 - 21日(金) 臨時議事会 ▽町商工会通常総会
 - 23日(日) 豪雨に伴う災害対策本部設置 対策
 - 25日(火) 県消防協会薩摩支部総会 ▽県緑化フェアPR隊訪問 ▽老人福祉施設訪問
 - 26日(水) 地域担当職員研修会 ▽町口蹄疫対策本部会議 ▽県市町村職員共済組合組合会ほか
 - 27日(木) 区公民館長会定例会 ▽入札
 - 28日(金) 行革本部会議 ▽町土地開発公社理事会 ▽入札 ▽広域市町村協議会総会ほか
 - 29日(土) 県建築士会川薩支部創立50周年記念式典
 - 30日(日) みやんじよ五ツ太鼓保存会総会
 - 31日(月) 先進地研修視察(庁舎建設関係 佐賀県白石町)

◆お詫びと訂正◆ 広報さつま6月号の6ページの記載事項に下記のような誤りがありました。訂正してお詫びいたします。
 誤 正
 P6上の段から3段目 関東さつま会会長の氏名(敬称略) 久木野令佳(関東さつま会会長) 木通洋吉(関東さつま会会長)

健康増進課 健康増進係
内線2143

- **健康診査日程** 【7・8月分】
- 乳幼児健診・健康相談
 - 1歳6ヶ月児 (H20・11生)
 - 7月21日(水) 午後0時30分~午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - 3歳児 (H19・5生) 7月28日(水) 午後0時30分~午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - 2歳6ヶ月児 歯科健康診査 (H20・1生) 8月5日(木) 午後0時30分~午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - 4~5ヶ月児 産婦健康診査 (H22・3生) 8月11日(水) 午後0時30分~午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - 母子健康手帳交付 (宮之城保健センター) 7月26日(月)

- 8月9日(月) 午前9時30分~午前11時 (宮之城保健センター) 健康保険証、印鑑をお持ちの上、ご夫婦でおいでください。
- フツ化物塗布 7月21日(水) 7月28日(水) 8月5日(木) 午後3時~午後4時 受付(宮之城保健センター) 総合健康相談 8月3日(火) 午前9時30分~午前11時 (宮之城保健センター)
- **楽々健康ウォーク** みなさん、一緒に歩いて気持ちいい汗を流してみませんか? 水の音鳥の声コース 7月11日(日) 午前7時 鶴田あびる館出発 探索コース(公園内コース) 7月24日(土) 午前7時 北薩広域公園出発
- **児童扶養手当** 離婚などで父親のいない家庭や父親が一定の障害の状態にある家庭の児童(18歳以下又は20歳未

満で心身に障害のある児童)を監護している母、または母にかわってその児童を養育している人に支給される手当です。ただし、老齢福祉年金以外の公的年金を受け取ることができない人などには手当は支給されません。平成22年8月分手当から父子家庭にも支給されることになりました。1月当たりの支給額 9,880円(所得制限があり、所得によって、受給できません)

● **特別児童扶養手当** 精神又は身体に障害のある20歳未満の児童を監護する父もしくは母又は父母以外の者が養育するときに支給される手当です。ただし、障害を事由に公的年金を受け取ることができない場合や児童福祉施設に入所している場合は支給対象となりません。1月当たりの支給額 1級 50,750円 2級 33,800円

● **ひとり親家庭医療費等助成制度** 母子・父子家庭の親及び18歳以下の児童並びに

● **子ども手当の申請はお済みでしょうか。** 子ども手当の申請をされた方については、6月11日(金)に貯金口座等に支払いました。子ども手当の創設により、手当の支給対象となった方(所得制限限度額を超え児童手当を受給できなかった方や新中学2・3年生のみを養育していた方等)は、経過措置で平成22年9月30日までに申請すれば、4月分に遡って支給されますので、申請がお済みでない方は早めに手続きをお願いします。

● **鹿児島県中央児童相談所の判定及び受診について** 児童の療育手帳に係る判定及び特別児童扶養手当の診断書作成のための診察についてお知らせとお願いです。療育手帳の新規判定及び更新については、予約がなければ受診することができません。また、特別児童扶養手当の診断書作成にかかる医師の診察は、毎月第1週から4週の木曜日のみとなっております。これについても予約が必要となります。ご迷惑をおかけいたしますが、判定及び受診希望の場合は、必ず事前に電話予約をお願いします。お問い合わせ先 鹿児島県中央児童相談所 ☎099(264)3003

● **心配ごと相談所** 毎週木曜日 午前10時~正午 宮之城ひまわり館 お問い合わせ先 町社会福祉協議会 ☎(52)1123

福祉課 福祉障害係 内線2134

ひと仕事

さつまに生きる

子どもの頃に遊んだ 川内川の清流が懐かしい



町内の河川敷で小学生と体験放流を行う、田淵組合長の姿があります。

川内川漁業協同組合は現在768人の組合員で組織され、田淵政春さんは平成17年から組合長の職に就かれています。

漁協では、組合員鑑札発行、遊漁承認証発行、保護水面の管理や放流事業など様々な取り組みを行っています。

「これらの事業を組合員一人ひとりが認識し、運営していくことが大事」と話されます。

川内川漁業協同組合
組合長
たぶち まさはる
田 淵 政 春 さん 76歳
(さつま町鶴田)



毎年6月1日は鮎漁の解禁日となっていますが、「今年の鮎は数は多いが、水温が低かったせいかわぶりだ」と分析されています。

地域の方々に川に親しんでもらおうと、「川内川鮎まつり」も計画されましたが、今年には家畜伝染病感染予防のため、中止となりました。

また、「時代の移り変わりで、子どもたちが川で遊んだり、川の生き物に親しむ機会がなくなりました。学校単位で力二、ウナギ、アユなどの体験放流を実施していますが、子どもたちの喜ぶ顔を見ると、



このコーナーでは、さつま町で働く人々の姿を紹介します。自薦・他薦は問いません。多くの人材をご紹介ください。

こちらもうれしくなります」と話されます。

さらに「若い頃から、川での魚とりが楽しく、川内川の鮎が好きで今に至りました。幼少の頃に川で遊んだ記憶がとて懐かしい。この川内川が昔のように青々と水を蓄えた清流になれば」と川内川への思いを募らせる田淵組合長でした。

誕生おめでとう

5月16日(6月15日届出分)(8人) 敬称略

あかちやん 前保護者 公民会
前野 空 絆 女 誠 下平川
小田 琳太郎 男 朋和 轟原
末野 陸 央 男 拓 東谷
上浦 慶亮 男 光博 上下大迫
満園 美咲 女 正輝 黒鳥
日当瀬 紳 男 賢 五日町
中野 流 空 男 健 船木東
山口 敦也 男 隆志 船木東

おくやみ申し上げます

5月16日(6月15日届出分)(29人) 敬称略

なくなつた人	年齢	公民会
井上 則夫	74	上下大迫
藤田 キクエ	80	海老川
餅田 ノキ	96	橋掛
安藤 トミカ	90	新町
脇 未太郎	84	下手
湯田 範夫	76	東谷
四枝 エミ	85	五日町
今村 實男	84	須杭
末永 昭美	81	角郷
堀 アヤ子	96	弓之尾
郷 ヒロ子	64	大願寺
西園 兼太郎	84	西町
外園 初男	92	紫尾上
栗野 安夫	77	西湯田原
村上 ツル子	83	新町

なくなつた人	年齢	公民会
宮園 幸子	78	町頭
小緑 千鶴	88	湯田上
出石 セツ子	87	さくら
竹内 ミフ子	89	荒瀬
下原 愛子	88	別野
半崎 フミ	91	鶴宮園
房内 エミ	83	マモリエ
井上 喜代子	76	湯田中
若松 シカ	87	西手東
外堀 稔	76	時吉中城
永吉 一成	72	二渡
永吉 武俊	84	二渡
木村 エミ	94	川原町
古町 チエ	85	武白猿

※「誕生・おくやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

1歳で～す
毎月1番最初に
生まれた赤ちゃん
あさくら りゅうしん
朝倉龍心くん
平成21年7月1日生



父 豪太さん
母 弘美さん
大薄上 公民会
両親から一言
すくすく
大きく育ててね!

こんにちは保健師です 健康さつま21 ストレス社会と言われる現代、あなたの「こころ」はお元氣ですか。

町では、こころの健康づくり対策として、特定健診会場でこころの健診(うつスクリーニング)を実施しています。自殺の原因、動機で一番多いのは「健康問題」といわれます。こころと体の健康は非常に密接に結びついており、身体の健診と同じように「こころの健康度」をチェックすることは重要です。「疲れている」と感じたらぜひ「こころの健康度チェック」を試みましょう。その結果、うつ病の可能性のある方は、一人で悩まず早めに相談しましょう。

この2週間のあなたの様子についてお答えください	1	毎日の生活が充実していない	2つ以上あり	いづれか該当すれば専門家への相談をおすすめします。
	2	これまで楽しんでやれていたことが、今は楽しめなくなった		
	3	以前は楽に出来ていたことが、今ではおっくうに感じられる		
	4	自分は役に立つ人間だと思えない		
	5	わけもなく疲れたような感じがする	1つ以上あり	
	6	死について何度も考えることがある 「もう年だからいつ死んでもいい」「ぼっくり死にたい」 などはチェックに該当しません		
	7	気分がひどく落ち込んで自殺について考える事がある		
	8	最近(ここ2週間)ひどく困った事やつらいと思った事がある (家族の死、親戚・近隣の人の自殺、医療機関からの退院など)		

かねだ ともひろ
金田 智裕くん

盈進小学校 6年



全国大会出場は夢への第一歩！

ぼくの将来の夢は、プロ野球の選手になることです。野球を小学1年から始めて『チームワークの大切さ』や『努力』というものを学びました。今回、『高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会』に鹿児島県代表として出場することになりました。これもチーム全員が一つになって『努力』したからだと思います。キャプテンとしてチームをまとめ、優勝を目指して頑張ります。この全国大会出場は、ぼくの将来の夢であるプロ野球選手の第一歩です。そして、大切な夢をいつまでも諦めず追いかけていきたいと思っています。

休日在宅医

【7月】

- 4日 益寄医院 ☎57-0010
- 11日 薩摩郡医師会病院 ☎53-0326
- 18日 さつまクリニック ☎57-0020
- 19日 立志病院 ☎55-9119
- 25日 宮之城病院 ☎53-0180

【8月】

- 1日 てらだ内科クリニック ☎21-3232
- 8日 薩摩郡医師会病院 ☎53-0326

休日薬局

【7月】

- 4日 ぎんざ薬局求名店 ☎31-6500
- 11日 青空薬局 ☎52-0101
- 18日 元島薬局 ☎44-2077
- 19日 フタヤ薬局 ☎59-2033
- 25日 ぎんざ薬局 ☎53-0011

【8月】

- 1日 さし薬局 ☎21-3610
- 8日 青空薬局 ☎52-0101

わたしたちの町

推計人口による

人口 24,041人 (- 20人)
男 11,098人 (- 15人)
女 12,943人 (- 5人)
世帯数 10,318世帯
転入 48人 転出 40人
出生 9人 死亡 37人
(平成22年6月1日現在)

()は前月対比

※休日在宅医や薬局は都合により、変更になる場合があります。受診の際は、医療機関に電話で確認してください。町のホームページでも紹介しています。